Visual COBOL / Enterprise Developer チュートリアル デフォルトセキュリティの構成

1. 目的

製品バージョン10.0をインストールすることにより、既に設定済の外部セキュリティマネージャー(以降 ESM と称す)が存在しないことを条件に、製品に含まれる VSAM ESM モジュールが提供するセキュリティ機能がデフォルトで有効になります。 す。そのため、実行に関連するすべての操作において、有効な資格情報の認証が必要になります。 本チュートリアルでは Enterprise Developer を例に、この VSAM ESM 機能について説明します。

2. 前提

- 本チュートリアルで使用したマシン OS: Windows 11 Pro、Red Hat Enterprise Linux 9.3
- 使用するマシンに Visual COBOL または Enterprise Developer 10.0J がインストールされていること
- Enterprise Server Common Web Administration(以降 ESCWA と称す), Micro Focus Directory Server(以降 MFDS と称す), Enterprise Server インスタンスについて理解していること
- ESM について理解していること

3. 段階的なセキュリティの設定

ESM は、一番大きな単位であるESCWA、ESCWAで管理するMFDS、MFDSで管理する Enterprise Server インス タンスと、3段階に適用することができます。矛盾が生じないよう、同じ ESM を各段階に設定することを強く推奨します。 ESCWA)

ES 管理 ダッシュボード	ネイティブ	ES .NET	メインフレ	-A 27-1	אדע	ESCWAセ	キュリティ設定		
ネイティブナビゲーション ^	リージョ	ンおよびサーバ	- Jo,	パティー・	セキュリティ		セキュリティ設	定	
∽ 🗇 グループ	合 このDirec	tory Serverホスト	ではTLSが有効で	にはありません。デ-	-タはローカルネ	シーク 送信され	ますが、他の接続が公開さ	れる可能性	があります
> 論理	11. 5%-		ы. 16° т	171.			1		
> PAC	リーショ	17920	ワーハー!		新規作成	前 すべて削除	上 エクスポート	土 イン	π−ト
 Directory Server 									
一合 Default									
目 APAC1	V	名前	V	説明	V	7 PAC	▽ エンドポー	シト	5
E APAC2									
CICSDEMO	ア	名前	タイプ	ステ	<u>64</u> ビット	MSS有効	セキュリティ	アクラ	ション
E CICSLSI		PAC2	Pegion	Stopped	~	~	デフォルト	ß	高品
DBDEMO		CICSI SI	Pegion	Stopped	~	~	デフォルト	n	高品
DBDEMOEB		IMSDEMO	Region	Stopped	\checkmark	~	デフォルト	D	应回
ECIDEMO		ESDEM064	Region	Stopped	\checkmark		デフォルト	Ø	愈 前
ESDEMO	=	PLIJCL64	Region	Stopped	\checkmark	~	デフォルト	0	愈 前
ESDEM064	Ξ.	JCLDEM02	Region	Stopped	\checkmark	\checkmark	デフォルト	Ø	@ 前
IMSDEMO	E	DBDEMOEB	Region	Stopped	\checkmark	\checkmark	デフォルト	D	愈 向
	_								
				<u> </u>					
Enterprise Server 12	ノスタンス	のセキュ	リテイ設	定)					
ネイティブ ナビゲーション ^	一般 🗸	cics 🗸	JES 🗸						
∽ 🗇 グループ	11 2"-2	~~							
> 論理	リーション	のセキュリ	ナイ 機能0	21月月21日月21日日日 21日日		Entorprico	Somer 12.7	a >.7	
> PAC						Enterprise		> / ^	
 Directory Server 	* 入力必須の)	項目です				セキュリティ	設定		
~ 合 ら Default	Z = +	しトのヤキュリテ	ィ機能の構成	を使用()					
APAC1	 	010024200	-1 108 BE 02/149/00	encua A					

4. デフォルトユーザーと初期パスワードの取得

VSAM ESM のデフォルトユーザーと、インストールごとに生成する8桁の初期パスワードは、製品内部に Secrets Vault として格納されています。これらを製品に付属する Visual COBOL または Enterprise Developer コマンドプロンプ トから取得します。

実行コマンド)

mfsecretsadmin read microfocus/temp/admin

Linuxの例) #mfsecretsadmin read microfocus/temp/admin {″mfUser″:″SYSAD″, ″mfPassword″:″FeoZmjxQ″} # Windowsの例)

🔤 Enterprise Developer コマンドプロンプト (64-bit)

C:¥Users¥t<u>arot¥Do</u>cuments>mfsecre<u>tsadmin_re</u>ad_microfocus/temp/admin_ {"mfUser":<mark>"SYSAD"</mark>, "mfPassword":<mark>"64C4TK80"</mark>}

上記 Windows の場合、デフォルトユーザーは SYSAD、初期パスワードは 64C4TK8O です。この値をメモ帳などに記録します。

5. ESCWA ログオン

Web ブラウザーから ESCWA へ接続すると、 ログオン認証を求められます。

デフォルトユーザーと初期パスワードを入力して[ログオン]、 もしくは[パスワード変更]をクリックします。



本チュートリアルではデフォルトユーザーのパスワードを SYSAD に変更してログオンします。 変更したパスワードは利用者の責任で管理してください。

 Micro Focus Enterprise S 的なセキュリティ機能が す。 詳細情報 	Serverでは、インストール後に基本 デフォルトで有効になっていま
ユーザー名	
SYSAD	
パスワード	
新しいパスワード*	パスワードの確認*
キャンセル	サブミット

6. ESCWA セキュリティの構成

ログオンに成功すると ESCWA が表示されます。まずは ESCWA のセキュリティ設定を確認します。 上部の ESCWA メニューから[セキュリティ]をクリックします。

ESC	CWA)							
ES	管理	ダッシュボード	ネイティブ	メインフレーム	セキュリティ		ESCW	-ב בא א
ダッ	シュボード	+ לאידי	トを追加	j ダッシュボードのリ	<mark>ロード</mark>	7ォルトの更新 🗸		
ESC	WAサーバーはTLS <u>た</u>	「有効ではありません。	ネットワーク全体	の通信は暗号化されません	」。できるだけ早くTLS0	の設定を有効にすることが推	契	
	ようこそ							

ようこそ

ESCWA のセキュリティ設定画面が表示され、[定義済みの外部のセキュリティマネージャ]には製品が提供する VSAM ESM が登録されています。

ESCWA セキュリティ設定)

ES	管理 ダッシュボード	イティブ メインフレーム セキュリティ	
セキュ	リティ ナビゲーション ^) セキュリティ マネージャ	定義済みの外部のセキュリティマネージャーキ道加	
~ U ,	⁹ ESCWAの構成 <u> ⁰ VSAM ESM</u>) 構成レポート	▼ 名前 ▼ 説明 モジュール ~ 有効 ~	
		ア 名前 モジ 有効 説明	
		An External Security Manager (ESM) which uses COBOL VSAM (.dat) files to store security configuration information	on.

[説明]に表示されているように、VSAM ESM はその名の通り、VSAM (*.dat) ファイルにセキュリティ構成情報を保存 する製品独自の ESM を指します。これらの VSAM ファイルは製品インストールフォルダまたはディレクトリにある etc フ ォルダまたはディレクトリ配下に保存されています。

ESCWA のセキュリティに ESM を登録すると、ESCWA の操作にかかわるアクセス制御や、ESM に定義されているユーザー、グループ、リソースをメンテナンスすることができます。

リソース設定)							グループ オプション	0
							プロパティ	^
 ◎ セキュリティ マネージャ ◇ ② ESCWAの構成 		ューザー	- オブション	* 新規作成			グループ Q SYSADM	
✓	_	77	アカウントID	▼ 名前	♡ 説明	V	a说明 ♀	
品 ユーサー 怒 グループ & リソース		ア	アカ 名前	デフォルトグループ	説明	アクション	ES System administrators group	l.
20 ロール ② 構成レポート		ል	CICSUSER	ALLUSER	Default CIC	0	ーンベイ	^
	3	8	IMSUSER	ALLUSER	Default IMS	0	ユーザー	すべてクリア
		8	JESUSER	ALLUSER	Default JCL	0 🖞	SYSAD × tarot ×	
		8	PLTPISUR	OPERATOR	CICS User f	0 🗓	▼ フィルタ □ CICSUSER	A
		ది	SAFU	DEVGROUP	Test securit	0	IMSUSER JESUSER	
		ል	SAFUIMS	IVPGRP	ES IMS User	0		
		a	SYSAD	SYSADM	Administrat	0 🖞	SYSAD	
		ል	mf_cs			00	mf_dep mf_daa	· ·
							* 入力必須の項目です	保存 💼 削除 戻る

左側ペインの[ESCWA の構成]>[VSAM ESM]>[ユーザー]から、デフォルトユーザーである SYSAD の権限を確認す ると、すべてのグループに属しており、すべての権限を持つことがわかります。一方、CICSUSER を確認すると2つのグ ループにのみ属しており、権限に制限があることがわかります。

ユーザー定義)

カウントID 💡 'SAD		アカウントID 8 CICSUSER	
前 ♀	デフォルト・グループ Q SYSADM	2m 9	デフォルト グループ 💡 ALLUSER
グループ	すべてクリア	グループ	すべてクリア
#AddDel × #AllUsrs × #DSA	dmin × #GAdmin × #Modify ×	DEVGROUP × ALLUSER ×	
#System × ALLUSER × DEV	GROUP × INTERCOM × IVPGRP ×	▼ フィルタ	
OPERATOR × SYSADM ×		#AddDel	
T 74119		U #AllUsrs U #DSAdmin	
#GAdmin	▲	#GAdmin	
✓ #Modify		#Modify	
✓ #System		#System	
ALLUSER			
DEVGROUP		INTERCOM	
INTERCOM			
VPGRP			

左側ペイン上部の[セキュリティナビゲーション]から[ESCWA の構成]>[VSAM ESM]>[リソース]をクリックします。 左側ペイン下部に展開された[セキュリティリソースナビゲーション]>[Common Web Administration]>[Security Configuration]を選択して ESCWA のセキュリティ構成にかかわる権限を右側ペインの[リソースオプション (Security Configuration)]で確認すると、変更権限を持つのは#DSAdmin に属するユーザーのみとなっています。 上記ユーザーの例では SYSAD は更新権限を持ち、CICSUSER は参照権限のみを持つことになります。

リソースオプション)	
セキュリティ ナビゲーション ^	リソースオプション * クラスの新規作成
 ● セキュリティ マネージャ ◇ ESCWAの構成 ◇ O VSAM ESM 	Security Configuration 過用
A ユーザー 器 グループ	 入力必須の項目です
& リソース	名前* 🞗
& ロール ூ 構成レポート	
セキュリティ リソース ナビゲーショ	
>	Allow access to security configuration properties for the Common Web Administration Server
 Managed Access Native Access 	ACL Q
Scale-out Configuration	ALLOW:*:read;ALLOW:#DSAdmin GROUP:update,add,delete
Security Access	
Configuration	

© Rocket Software, Inc. or its affiliates 1990–2025. All rights reserved. Rocket and the Rocket Software logos are registered trademarks of Rocket Software, Inc. Other product and service names might be trademarks of Rocket Software or its affiliates.

このリソース配下には、JCLを実行する cassub コマンドの権限や、 MFDSにかかわる権限など、すべての操作に対するリソースが含まれており、 必要に応じてメンテナンスすることができます。 リソースの種類については製品マニュアルをご参照ください。



ESCWA 操作に関連する認証や ESM 定義のメンテナンスが不必要な場合は、 ESCWA に ESM を適用する必要はありません。

7. MFDS セキュリティの構成

次に MFDS のセキュリティ設定を確認します。ESCWA メニューから[ネイティブ]をクリック後、左側ペインで MFDS をク リックします。下記の画像では[Default]が MFDS に該当します。右側ペインの MFDS メニューから[セキュリティ]をクリ ックすると、MFDS に設定された ESM が表示されます。下記の画像では VSAM ESM が適用されていることがわかりま す。

ES 管理 ダッシュボード	ネイティブ メイン	フレーム セキュリティ				_
ネイティブナビゲーション ^	リージョンおよびサ	ーバー プロパティ	< セキュリティ ↓	ジャーナル 🗸	MFDS メニュー	バージョン: 1.
~ 同 グループ	E このDirectory Serverオ	ストではTLSが有効ではありませ	ん。データはローカルネット		が、)ます。
> 論理 > PAC	定義済みの外部	のセキュリティ マネ	ページヤ + 追加			
✓ ☐ G ⊕ Default						
	▶ 2 名前	▽ 説明	モジ.	ュール~ 有効~		
는 LSDEMOOT	ア 名前	モジュール	有効	説明		
	🖯 VSAM E	SM vsam_esm	~	An External Secur	ity Manager (ESM) which uses COB	OL VSAM (.dat) files to store s
	合計:1					

① MFDS:定義済みの外部のセキュリティマネージャ

MFDS に適用される ESM の一覧が表示されます。VSAM ESM が適用されていない場合は必要に応じて以下の手順で追加することができます。

右側ペインの[+追加]をクリックします。 定義済みの外部のセキュリティ マネージャ + 2000



[外部のセキュリティマネージャ構成]ウィンドウでは ESCWA と同様に[名前]には VSAM ESM を、[モジュール]に は vsam_esm を指定して保存すると、VSAM ESM が一覧に表示されます。

外部のセキュリティ マネージャ構成		定義済みの外部のセキュリティ マネージャ 🔤 + 追加
名前* 🛇	±≥1-11× 8	
VSAM ESM	vsam_esm	▼ 名前 ▼ 説明 モジュール ~
✓ 有効 Q		ア 名前 モジ 有効 説明
		A VSAM ESM vsam_esm ✓

MFDS:デフォルトの ES 構成

MFDSのESM 構成)

MFDSが管理するEnterprise Serverインスタンスのデフォルトセキュリティを設定します。MFDSメニューの[セキュリティ]>[デフォルトのES構成]を選択します。既にVSAMESMがリストに表示されている場合は追加せずに、 内容を確認します。

セキュリティ	∨ ジャーナル		
。データはローカルネ・	セキュリティ マネージャ		
ージャ + 追	デフォルトの ES 構成		
	Directory Serverの構成		デフォルトの ES セキュリティ機能の構成 週間
	セッション		・ 入か必須の時間です 「 不 不 な む む ま い デ イ マネージャ を 執証 ♀ 「 不 特な リ ソ ー ス を 許 可 ♀ □ 不 特な リ ソ ー ス を 許 可 ♀ □ 不 特な ユ ー ヴ ー を 許 可 「 本 切 か む ヵ ヵ ヵ ヵ ヵ ヵ ヵ ヵ ヵ ヵ ヵ ヵ ヵ ヵ ヵ ヵ ヵ ヵ
表示された	画面の[セキュリテ	-ィマネージャリスト]	actions Q
の[+追加]フ	ボタンをクリックし	します。	
			セキュリティ マネージャ リスト
			+ 追加

[定義済の外部のセキュリティマネージャ]一覧には MFDS に適用した VSAM ESM が表示されます。

[VSAM ESM]にチェックして[選択]ボタンをクリックすると、デフォルトの ES セキュリティ機能として VSAM ESM が登録され、[セキュリティマネージャリスト]に表示されます。

定義済みの外部のセキュリティ	エジブイ マネージャ マネージ すべてクリア	
VSAM ESM ×		
▼ フィルタ ▼ VSAM ESM		セキュリティ マネージャ リスト + 追加 1 〈 VSAM ESM
	-	
	選択 戻る	

最後に画面上部の[適用]ボタンをクリックして ESM 設定を反映させます。ユーザー認証が求められる場合は、SYS ADユーザーを使用して認証します。

デフォルトの ES セキュリティ機能の構成 | 適用

③ MFDS: Directory Server の構成

MFDS 操作に関連するセキュリティ設定を行います。MFDS メニューの[セキュリティ]>[Directory Server の構成]を選択します。既に設定されている場合は内容を確認します。



ここでは前述で設定した[ES デフォルトセキュリティマネージャを使用]にチェックします。

また、MFDS アクセス時に認証を求める場合は[Directory Server アクセスを制限する]にチェックし、最後に画面 上部の[適用]をクリックします。

irectory Serverのセキュリ	ティ機能の構成 ^{適用}	
 入力必須の項目です Directory Server アクセスを制限: ¬ の明なユーザーを許可 ♀ 	する Q ロ すべてのセキュリティ マネージャを検証 Q 国 監査 イベントを作成する Q	□ 不明なリソースを許可 ♀ ■ すべてのグループを使用 ♀
	ペティが変更されたら更新する ♀	
キャッシュTTL* 9 0 ^ わ	≠rysallæ* 0 0 kB	
構成情報 ♀		
セキュリティ マネージャ リスト		
ES デフォルト セキュリティ マネ	└─ジヤを使用 ♀	

セキュリティ設定の更新に伴い認証が求められますので、SYSAD ユーザーを使用して認証します。

セキュリティ構成が更新され、 クラスの「ユーザー管理」リソ ユーザー名*	アクセスが制限されています。Enterprise Server Adr ースの権限のある既存のIDとパスワードを指定する』	ministration リン 必要があります。	/-ス
SYSAD			
パスワード*			
* 入力必須の項目です		ログオン	戻る

▲ 管理者ユーザーの認証情報の更新



MFDS 操作に関するセキュリティマネージャリストに VSAM ESM が適用され、表示されます。

セキュリティ マネージャ リスト	
✓ ES デフォルト セキュリティ マネージャを使用 Q	
十追加	
1 VSAM ESM	

MFDS アクセスに制限をかけることで、左側ペインに表示されている MFDS のアイコンが変化します。



8. Enterprise Server インスタンスセキュリティの構成

Enterprise Server インスタンスのセキュリティ設定を確認します。左側ペインでセキュリティを設定する Enterprise Server インスタンスを選択後、Enterprise Server インスタンスメニューの[一般]>[セキュリティ]を選択すると、右側 ペインに[リージョンのセキュリティ機能の構成]が表示されます。下記の画像は何も設定されていない状態ですが、既に設 定されている場合は内容を確認します。



前項の MFDS セキュリティで[デフォルトの ES 構成] として設定した VSAM ESM を Enterprise Server インスタン スに適用します。

[デフォルトのセキュリティ機能の構成を使用]にチェックし、[適用]をクリックすると、[セキュリティマネージャリスト]には VSAM ESM が表示されます。



デフォルトのセキュリティ マ デフォルトのセキュリティ	(機能の構成を使用 ♀		
」 いていしてキュリティマン 「監査イベントを作成する」	8 A Distant A	■ すべてのグループを使用 9	
キャッシュTTL* 💡 0 🇘 🏷 ಶ		⊐_ER* ♀ Ç ke	
晶成情報 💡			

本チュートリアルでは[デフォルトのセキュリティ機能の構成を使用]を指定しますが、これを指定しない場合には一覧に表示されたESMを選択することで、個別に ESM を指定することもできます。

[定義済みの外部のセキュリティマネージャ]の選択肢)

リージョンのセキュリティ機能の構成	適用	
	定義済みの外部のセキュリティ マネージ	ッヤ
* 入力必須の項目です		
□ デフォルトのセキュリティ機能の構成を使用 ↓	定義済みの外部のセキュリティマネージ すべてクリア	7
□ すべてのセキュリティマネージャを検証 💡		
□ 監査イベントを作成する 💡	VSAM ESM ×	
	▼ フィルタ	
キャッシュTTL* V キャッシ	VSAM ESM	^
構成情報 🛛		
		w
セキュリティ マネージャ リスト		
+ 追加	選択 厚	5

デフォルト以外のセキュリティ使用時の一覧表示例)

ア	名前 👠	タイブ	ステータス	64 ビット	MSS 有効	セキュリティ			
Ξ.	JCLDEMO Region		Stopped	\checkmark	\checkmark	デフォルト以外			
デフォ	デフォルトセキュリティ使用時の一覧表示例)								
ア	名前	タイブ	ステータス	64 ビット	MSS有効	セキュリティ			
Ξ.	JCLDEMO	Region	Stopped	\checkmark	\checkmark	デフォルト			

前項からの設定では、ESCWA、MFDS、Enterprise Server インスタンスには同じ VSAM ESM が設定されます。

9. Enterprise Server インスタンスセキュリティの除去

VSAM ESM を除去する場合は前項までの設定を遡り、小さい単位から大きい単位へと無効化していきます。LDAPやA ctive Directoryなど、その他の ESM を除去する際も後述の[デフォルトセキュリティの無効化コマンド]を除いて、同じ 手順を踏みます。

[デフォルトのセキュリティ機能の構成を使用]を指定していない場合には、該当する Enterprise Server インスタンスを 選択後、Enterprise Server インスタンスメニューの[一般]>[セキュリティ]を選択し、[リージョンのセキュリティ機能の 構成]を表示します。



個別に指定した ESM が表示されている行の右端の除去アイコンをクリック後、[適用]をクリックします。

リージョンのセキュリティ機能の構成	リージョンのセキュリティ 機能の構成 第四
ுப்பண்ணுமா பிரூராபு பிலுக்கும் பிரா விலைவிடுக்கு இ	・入力20年の時代です □ デフルルトのセキュリティ毎届の構成を使用 ♀
● ○ ●	
Rote Q	Nettake O
tx1y2+x7 x + tx7 + x + x + x + x + x + x + x + x + x +	セキュリティ マネージャ リスト

[デフォルトのセキュリティ機能の構成を使用]を指定している場合にはこの除去を実施する必要はありません。

10. MFDS セキュリティの除去

ESCWA メニューから[ネイティブ]をクリックした後、左側の[ネイティブナビゲーション]より[Directory Server] >[Default]をクリックして MFDS メニューを表示します。

ES	管理 ダッシュボード	ネイティブ ES.NET メインフレーム セキュリティ	
ネイテ	ィブ ナビゲーション ^	リージョンおよびサーバー プロパティ v セキュリティ v ジャーナル MFDS メニュー	١
~ 🗗 > >) グループ 論理 PAC	 	
~	Directory Server	▼ 名前 ▼ 説明 モジュール ~ 有効 ~	



MFDS メニューの[セキュリティ]>[Directory Server の構成]を選択し、[Directory Server アクセスを制限する]、 [ES デフォルトセキュリティマネージャを使用]からチェックを外した後、画面上部の[適用]をクリックします。

D	irectory Serverのセキュリティ機能の	D構成	
	 ヘカの頃の頃目です ✓ Directory Server アクセスを制限する ♀ 	すべてのゼキュリティマネージャを検証 Q	□ 不明なリソースを許可 💡
2	□ 不明なユーザーを許可 🖗	□ 監査イベントを作成する 🖗	■ すべてのグループを使用 💡
	セキュリティ マネージャのプロパティが変更さ	されたら更新する 💡	
	trestante Ω trestante Ω trestante Ω trestante Ω trestante Ω	>2.18. 0	
	セキュリティ マネージャ リスト	0	
	■ ES 7 フォルド ビキュリティ マホーンド €18/H	v	
	1 VSAM ESM		

MFDS メニューの[セキュリティ]>[デフォルトの ES 構成]を選択し、VSAM ESM が表示されている右端の除去アイコン

をクリック後、[適用]をクリックします。

す。

入力必須の項目です すべてのセキュリティ マネージャを検証 ♀	□ 不明なリソースを許可 Ω	□ 不明なユーザーを許可 🛛	
] 監査イベントを作成する 🖓	✓ すべてのグループを使用 ♀		
ヤッシュTU- Q キャッシ.) ^ わ 0 成情報 Q	a⊥tar∙Q ⊖ ka		
キュリティ マネージャ リスト			
十 追加			

セキュリティ設定の更新に伴い認証が求められますので、SYSAD ユーザーを使用して認証すると、一覧から削除されま

A 管理者ユーザーの認証情報の更新			
セキュリティ構成が更新され、アクセスが制限されています。Ente クラスの「ユーザー管理」リソースの権限のある既存のIDとパスワ コーザー&*	erprise Server Administration リソース リードを指定する必要があります。		
SYSAD			
۲ C ג ו			
* 入力必須の項目です	ログオン 戻る	デフォルトの ES セキュリティ機能の構成 🏾 🔊	
		・入力の休み頃目です 「 すべてのだオュリティ マネージャを検証 ♀ 「 不明なリソースを許可 ♀ 監査ィベントを作成する ♀ ぼう マスロのカループを提用 ♀ キャッシュエポ・♀ マ	□ 不明なユーザーを許可 ♀
		etatobar Q	
	_	セキュリティ マネージャ リスト	
		+ 1820	



Enterprise Server インスタンスに[デフォルトのセキュリティ機能の構成を使用]を指定した場合は、MFDS の[デフォルトの ES セキュリティ機能の構成]から VSAM ESM を除去した時点で、下記の画像のように Enterprise Server インスタンスからも除去されます。

Enterprise Server インスタンスのセキュリティ設定)

リージョンのセキュリティ機能の構	芮成 適用	
*入力必須の項目です ■ デフォルトのセキュリティ機能の構成を使	um Q	
	♀ □ 不明なリソースを許可 ♀	🔲 不明なユーザーを許可 💡
□ 監査イベントを作成する 💡	🖬 すべてのグループを使用 🛛	
≠τy>≥ατπι*	pp3alBrQ) ↓ kB	
रम्ब्राग्स्ट । मङ्ग्रेस्ट । मङ्ग्		
セキュリティ マネージャ リスト		
上 追加		
1 1000		

ESCWA メニューから[ネイティブ]をクリックした後、左側の[ネイティブナビゲーション]より[Directory Server] >[Default]をクリックして MFDS メニューを表示します。その後、 MFDS メニューの[セキュリティ]をクリックして、表 示されている VSAM ESM の除去アイコンをクリックします。

定	義済る	りの外部の	セキュリテ	ィ マネ ー	ジャー・	自加				
	♥ 名前			説明	:	Eジュール~	有効 ~			
1	ア	名前	モジ	有効	說明					アクション
	₿	VSAM ESM	vsam_esm	\checkmark						0 -
										除去

確認メッセージが表示されますので、[除去]をクリックします。

▲ セキュリティ マネージャの 除去の確認		
このセキュリティ マネージャを除去します か?		
▶ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		
定義済みの外部のセキュリティ マネージャ	· 十追加	
▼ 名前 ▼ 説明	モジュール ~ 有効 ~	
ア 名前 モジ 有効 説明	1	アクション
合計: 0		



11. ESCWA セキュリティの除去

[ESCWAセキュリティ機能の構成]からVSAM ESMを除去します。ESCWAメニューの[セキュリティ]をクリックします。

ES	管理	ダッシュボード	ネイティブ	ES .NET	メインフレーム	セキュリティ	ESCWA メニュー

左側ペインで[ESCWAの構成]を選択し、右側ペインのセキュリティマネージャリストの[除去]アイコンをクリックします。

セキュリティ ナビゲーション	^	ESCWA セキュリティ機能の構成 週 冊 再初期化 ESFをすべて更新	
 ジャンク ジャンク シャンク ESCWAの構成 シャンク 	C	ごれらの設定は、ESCWAのセキュリティを構成します、Directory Server には適用されません。	
> 役 VSAMESM ④ 構成レポート	•	・入力必須の頃目です 」 すべてのゼキュリティマネージャを検証 ♀ □ 不明なリソースを許可 ♀ □ 不明なユーザーを許可 ♀ ■ 監査イベントを作成する ♀	
		セキュリティ マネージャ リスト	4
		T HOW 1 ✓ VSAM ESM	△ ▽ -

画面上部の[適用]をクリックすると、セキュリティ設定の更新に伴い認証が求められますので、SYSAD ユーザーを使用し て認証します。

ይ	現行の管理者ユ	ーザー	の認証情報
---	---------	-----	-------

セキュリティ構成が更新中です。ユーザーIDとパスワードを再入力してください。 ユーザー名*		
SYSAD		
パスワード*		
* 入力必須の項目です	ログオン	戻る

セキュリティマネージャリストから除去されます。

セキュリティ	ィマネージャ リスト
十 追加	

次に[定義済みの外部セキュリティマネージャ]から VSAM ESM を除去します。左側ペインの[セキュリティマネージャ]を クリックし、表示された VSAM ESM の[除去]アイコンをクリックします。



セキュリティ ナビゲーション	^ 5	定義済	みの外部の	セキュリテ	ィマネージ	やヤーー追加		
◎ セキュリティ マネージャ								
✓ ♪ ESCWAの構成								
🕑 構成レポート		7	名前	Y	説明	モジュール > 有効 >		
		ア	名前	モジ	有効	說明	アクション	
	<	₿	VSAM ESM	vsam_esm	~	An External Security Manager (ESM) which uses COBOL VSAM (.dat) files to store security configuration information.	0 —	
							除去	
		合	ŝ†: 1					

確認メッセージが表示されますので、[除去]をクリックします。

▲ セキュリティマネージャの 除去の確認
このセキュリティ マネージャを除去します か?
除去戻る
ESCWA から ESM が除去されます。
定義済みの外部のセキュリティ マネージャ

 文名前
 文説明
 モジュール、有効、

 ア...
 名前
 モジ...

 合計: 0
 6

最後にデフォルトセキュリティの無効化を各種設定ファイルに反映します。

製品に含まれている Visual COBOL または Enterprise Developer コマンドプロンプトを起動し、次のコマンドを実行します。

Linux/UNIX の実行コマンド)

DisableESDefaultSecurity.sh

Linux 実行例)





Windows の実行コマンド)

DisableESDefaultSecurity.cmd

Windows 実行例)

C:¥Users¥tarot¥Documents>DisableESDefaultSecurity.cmd Micro Focus DisableESDefaultSecurity utility: Version 1.0.0

MFDS is not using ES Default Security. ESCWA is using ES Default Security, attempting to disable.

12. 免責事項

本チュートリアルは機能説明を目的としており、無謬性を保証するものではありません。本チュートリアルに関わる全てを 対象として、二次的著作物に引用する場合は著作権法の精神に基づき適切な扱いを行ってください。

本チュートリアルで学習した技術の詳細については製品マニュアルをご参照ください。